



「ありがとうございます」 会田 慎 美正写真館（福島）

#### ■ 選評

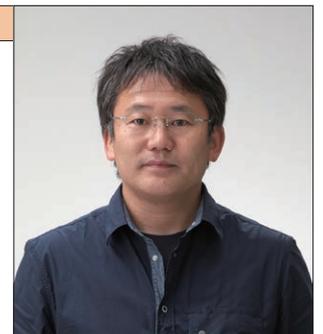
勲章を受章した夫婦の、人柄の良さがストレートに表現された秀作です。ポーズをつけさせるのではなく、ちょっとした動きの中にある、仲の良い瞬間を捉えたところにカメラマンのいぶし銀の上手さが光っています。奥様がさりげなくご主人に寄り添う姿に、夫婦が歩んできた人生が映し出されているようです。この年代の方々は写真館へ行くと表情や動きが硬くなってしまいがちですが、この写真では2人の素朴で柔らかな表情を大変良く引き出しています。勲章受章者の撮影には型があり、それは写真館の重要な仕事ですが、「その人らしさ」の表現を求める人もいて、このような微笑ましい1枚を喜ぶお客様も多いのではないかと、感じさせてくれた作品です。

#### ■ 喜びの声

このたびは荣誉ある賞を頂戴いたし心から感謝申し上げます。  
叙勲の記念写真です。ユーモアに富み立ち振る舞いが上品でそこにいるだけで絵になるお二人でした。手を加えての物語作りは必要なく、むしろ絵を壊しながら撮影を進めました。「内助の功ですね」と申し上げたところ、お二人同時に「ありがとうございます」そんな瞬間だったと記憶しております。今後も撮影者として私を選んでくださるお客様の期待に応えるため努力いたします。これまで私を導き支えてくださった小関信克先生、伊藤正春先生、福森義宏先生、大武会の仲間、六花塾の仲間、

福島県写真館協会の皆様、そして上質なプリントに仕上げてくださいましたアオバカラーさん、ありがとうございました。

（制作ラボ：(株)アオバカラー）





## 「Keep going」 藤井英之 会津写遊庭（福島）

### ■ 選評

カラーハーモニーの良さが際立つ、爽やかなロケーションフォトです。空と水平線、柵と草地、道路という横軸のラインでリズムを生み出し、安定感のある画面になっています。清々しい絵の中にアウトドア系の車がフィットし、車の方向性も良く、「あなた頑張って！」とエールが聞こえてきそうな、今後の2人のユニークな生活を想起させるような、見る者のイメージを駆り立てる絵柄です。向こう側の車の窓も開いており、背景が抜けているため、より空気感が出ているところにもカメラマンのこだわりが感じられます。真上からの太陽の光で、顔がきれいに撮れない時間帯のようですが、難しい条件の中で技術と努力が成功をもたらした素敵な1枚といえます。

### ■ 喜びの声

このたびは伝統ある富士フィルム営業写真コンテスト銅賞をいただき誠にありがとうございます。

一次入賞で感激していたところ、銅賞の通知をいただき、いまだに信じられない気持ちです。この日の撮影は結婚式の前撮りでした。

そもそもお二人が当式場を選んだ決め手のひとつが前撮りのロケーションフォトだということと撮影には前のめりで臨んでいただけました。

キャンプが趣味のお二人から「休日に二人がキャンプデートしている自然な感じで撮ってほしい」というご要望に愛車と撮影が可能な海浜オートキャンプ場を手配いたしました。ご新郎様とテントを一緒に設営したり、楽しく撮影が過ぎていき、愛車との撮影のワンショットが受賞写真となりました。

雲一つない青い空、穏やかな青い海、二人の屈託のない爽やかな笑顔と最高のシチュエーションが揃い、弾むようにシャッターを押していました。

「旅行中に車が故障して新郎が押す」というポーズをお願いした結果、撮れた写真です。

この二人のこれからの人生を象徴するような写真となりました。

今回の銅賞は富士フィルム様のパーパスである「地球上の笑顔の回数を増やしていく」の追い風もあり受賞できたと考えますが何より、二十二年間支えてくださった顧客の皆様、最高の品質で仕上げてくださる新潟フジカラーの技術スタッフ、全員接客がモットーの写遊庭チームのおかげで受賞できたと感謝申し上げます。今後も受賞に恥じないようにお二人に寄り添い精進してまいります。

（制作ラボ：株新潟フジカラー）





## 「My Vespa」 植田光伸 フォトスタジオ久良多（栃木）

### ■ 選評

あえてモノクロにして、Vespa や革ジャンの色を廃したことで、人物とスクーターが一体となって見え、“Vespa への愛情” がより強く感じられる 1 枚です。硬い光を使うことで迫力を生み出し、美しさを醸し出すバックライトの当て方も絶妙です。「Vespa が一番カッコ良く見えるのは正面」と捉え、真正面に狙いを定めたカメラマンに優れた“モノを見る力”を感じます。乗る瞬間を狙い、その時の空気感まで見る者に感じさせる表現力も秀逸です。また、人物の目が見えないと物撮り的になりがちですが、サングラスのセレクトかライティングによって、目が少し見えるように調整してある点も、細部までのこだわりが表れています。マット仕上げで、お洒落な質感の作品です。

※ Vespa とは、イタリアのメーカー「ピアジオー」が製造販売するスクーター。映画「ローマの休日」でアン王女が乗るシーンがある。

### ■ 喜びの声

このたびは、歴史ある富士フィルム営業写真コンテストで銅賞に選出いただきありがとうございました。

妻も金賞をいただき、夫婦で上位入賞ということで大変驚きました。

この作品は SNS 等で屋外でのバイク写真があふれている中、「スタジオでしか撮れないバイク写真」を意識し撮影しました。

バイク単体だけの撮影というご要望でしたが、一緒に撮らせていただいた中の一枚です。

スタジオ内でのバイクの撮影は、取り回しやバイクと人物に対するライティングや構図など思った以上に苦労しました。

撮影中はカスタムのポイントやエピソード、好きな音楽の話や雑談などしながら、お客様の個性やバイクに対する思いをイメージし、自分なりに表現できたと思います。

今回の受賞を励みに、これからもたくさんのことを学んで個性を磨き、鼓動や呼吸を感じ撮影していきたいと思っています。

最後にいつも一緒に撮影している妻や見守ってしてくれる両親、たくさんの刺激やアドバイスをいただいている栃木県写真館協会の皆さん、細かい要望に応えいつも綺麗にプリントしてくれるプロカラーラボのスタッフの皆さん、写真についてゼロの状態から繰り返し丁寧に教えていただき、「写真の力」やスタジオ撮影の魅力を伝えていただいた辻文作先生と、そこで一緒に学んでいる個性豊かなメンバーの皆さんには大変感謝しております。ありがとうございました。

(制作ラボ：㈱プロカラーラボ イーストラボ)





## 「相棒」 川地清広 (有写真の川地 (三重))

### ■ 選評

ハイアングルで神秘的なライトを当てて顔を影にすることで、ミュージシャンの創造性や演奏力、個性をより魅力的に表現した秀作です。人物と楽器のために、スタジオでローキーでもハイキーでもない印象的なライティングをセットし、黒くつぶれ過ぎず人物を浮き上がらせているところに卓越した技術力を感じます。硬いライトと柔らかい補助光を組み合わせ、床面のグラデーションの暗部に人がきちんと入っているため、人物が浮き出て見えます。上部からのライトはステージライトを思わせ、ミュージシャンが演奏している姿をイメージさせてくれる画面構成力も秀逸です。空間の捉え方や構図のまとめ方など、あらゆる面でレベルの高い作品となっています。

### ■ 喜びの声

ありがとうございます、2014年 2015年 2016年に引き続き、8年振りに11回目の帝国ホテルに。

2024年銅賞をいただきありがとうございます。

歳をとっても、まだまだ写真に対する気持ちは変わらず、常に前向きに写真創りに取り組んでいます。

フィルム写真から、デジタル写真になりましたが、デジタル音痴の私ですが、皆さんに助けていただき、そして、富士フィルムイメージングプロテックの方々のお陰で、楽しい写真創りができています

この写真は、初めて数年前に家族写真を撮影させていただいた、音楽一家の方で、その時彼が二十歳だったと記憶しています。ギターを持って撮影しました。彼はそれから東京に出て演奏活動をしています。

プロフィール用で時々「川地のおっちゃん、また映して」と東京より、この大きなコントラ

バスを持って新幹線に乗って来てくれました。東京にもたくさん写真スタジオがあるのに、わざわざ来てくれました。

奥行き、立体感のある、俯瞰撮影でライティングを組んでみました。

これからも、若者に負けずに前向きに挑戦をしていきたいと思っています。

(制作ラボ:富士フィルムイメージングシステムズ株)





## 「Ruli ~ 3rd birthday ~」

桑島絵理 (株)桑島写真スタジオ (大阪)

### ■ 選評

メルヘンチックで、絵本の挿絵のような印象を与える作品です。いろいろな仕掛けを駆使して画面を作り、卓越したカラートーンの中で、少女の仕草と表情がこの絵柄に大変マッチしています。無理に笑わせない、目線を横に外した澄まし顔は、見る者に「この子は何を考えているの?」と想像させてしまうほどの画力を引き出しています。長い三つ編みを風船で釣り上げたり、空間を邪魔しない細い猫脚ソファを使うなど、絵作りの工夫やチョイスが詰め込まれています。ぬいぐるみと風船のカラーハーモニーも秀逸で、さらにライティングの妙により、画面の中央に視線が集まるようにしている点もレベルの高さが見てとれます。完成度が非常に高いアートの1枚です。

### ■ 喜びの声

このたびは栄えある銅賞をいただけたこと、誠にありがとうございます。  
2015年銀賞以来の上位入賞に舞い上がるような気持ちです。コロナ禍を経て世界が変わり、結婚・出産を経て私も変わり、これからは“変化を恐れず前に進め”と背中を押してもらった、うれしい受賞となりました。  
今回の写真はママの感性爆発の“パースデー記念に風船を使って撮りたい”想いに応えるべく、3歳の持つカワイイ世界観を表現しました。どんな撮影でも信じてお任せいただき、毎年驚くようなチャレンジをさせてくださる大好きなご家族に感謝の気持ちでいっぱいです。  
そして、常に切磋琢磨をさせていただける環境を作ってくださいたくさんの諸先輩方、心からお任せできるプロカラーの皆様、そして側で支えてくださる家族とスタッフ、いつもありがとうございます。

最後になりましたが、こうして富士フィルム様がコンテストとして評価を長年続けてくださるおかげで我々写真館の技術向上につながります。これからもそれぞれの思い出にそっと寄り添い、たいせつな人が写真を通して少しでも彩りゆたかな人生になることを目指して技術、精神ともに精進してまいります。

本当にありがとうございました。  
(制作ラボ：(株)プロカラーラボ)





## 「我ら応援団総部」 犬塚 瞭 いぬづか写真室 (兵庫)

### ■選評

卓越したライティングの下、応援団の表情もポーズも素晴らしく、非常にインパクトのある作品です。白の手袋と黒い学ラン、黒い背景、強いライトのチョイスが、コントラストの効いた印象的な画面を作っています。女子学生が低くかがんでカッコ良くポーズを決めるのは、かなり集中力が必要なことと察しますが、カメラマンが学生たちの気持ちをアゲて、勢いのある瞬間をしっかりと捉えています。顔の光もきれいで、黒バックでありながらつぶれているところがほとんどなく、学ランのディテールがきちんと出ており、完成度も高い写真です。上からの強めのライトにより良いムードのある影が生み出され、この影も画面の中で一つの魅力となっています。

### ■喜びの声

このたびは栄えある銅賞を受賞させていただき、感激しております。まずは、私を育ててくれた両親と家族に、改めて深く感謝しています。子どもの頃から見てきた父と母の後ろ姿が、私が写真の道を歩む大きな目標となりました。また、苦しい時も支えとなり、希望を与えてくれた妻と娘がいてくれたので今があります。今回の受賞は修業先である光潮社の堀先生をはじめ諸先輩方、撮影準備から尽力してくれているスタッフの皆さん、いつも写真を美しくプリントしてくださるプロカラーラボの前田様、私に関わってくださった全ての方々あってこそこの受賞であると、深く感じ心からお礼を申し上げます。皆様の助言と励ましが、これからも必要な若輩ですので、何卒よろしく願いいたします。

今回の被写体となったのは、私の母校の応援団である大学生たちです。彼らは

卒業記念として撮影に来店してくださいました。手の動きや表情、ライティングで応援団の真剣で全力、かっこいい姿を表現できるよう努めました。

今回の受賞を励みに、これからも皆様の助言を大切にし、お客様に喜んでいただける写真を撮り続けられるように精進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

(制作ラボ：㈱プロカラーラボ)

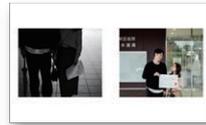




表紙



1



2



3

4

5

6



7



8



9

10



11

12



13

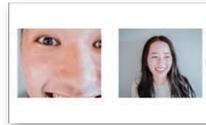
14

15

16



17



18



19

20



21



22



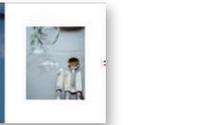
23



24



25



26



27



28



29



30



31

32



33



34



35

36

37

38



39



40



41

42



43



44



45



46



47



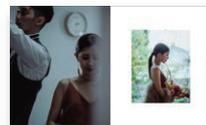
48



49



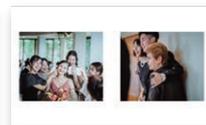
50



51



52



53

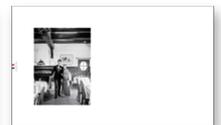
54



55



56



57

58

59

60

## 「結婚式までの奇跡」 西岡 亨 (有)コラソン レストランポヌフ (岡山)

アルバム

### 選評

婚礼アルバムですが、2人の喜びを表現する中に、家族団らんや婚姻届提出の瞬間などもフォローされた1冊です。時系列ではない構成も斬新で、大きな写真をドンドンと配して印象的な画面を作るとともに、心の機微もしっかり写し込まれています。特筆すべきは、カメラマンが“2人の幸せを表現すること”に惜しみなく時間と技術を使い、全力で向き合う姿勢が伝わることです。新婦が涙する場面など、見ている者は感情移入させられますが、それは2人と近い距離感で撮れた、高いコミュニケーション力が成せる技といえます。新郎が角隠しを新婦に被せる1枚にも、新しい絵作りへの意欲が見受けられます。「一生の宝物」を紡ごうとする熱意が生んだ力作です。

### 喜びの声

このたびは荣誉ある富士フィルム営業写真コンテストにて「銅賞」を受賞できたこと、誠に光栄でございます。  
今回撮影させていただいたお客様とは入籍日の撮影からご一緒し、「前撮り」「私服撮影」「結婚式」と長期にわたり撮影に携わらせていただきました。  
前撮りでは「嫁ぐ」をテーマにそれぞれのご実家からお仕度から花嫁花婿になる姿をご家族に見守られながら迎えられました。  
幼少期の写真を見ながら親御様にお話を伺うのは初めてで、お仕度を待つその空間は笑顔や涙であふれていました。  
夫婦になるその日から結婚式まで、ワクワクしたり、思い悩んだり、家族を想い寂しくなったりたくさん感情をカメラに向けてくださいました。  
今回アルバムを評価していただき受賞できたことは撮影した私だけではなく新郎新婦おふたり、協力してくださったご家族、そしていつも結婚式と一緒に創り上げているスタッフのみ

んなで受賞できたのだと感じております。  
また、このアルバムの作成では表紙の素材からデザインもこちらの要望を細かく表現していただき、ご尽力いただいたラボの皆様には感謝しかありません。  
今回受賞できたアルバムはもちろんのこと、たくさんのお客様の「人生に寄り添う」ことのできるアルバムや写真を残していけるよう精進してまいります。  
我々のアルバムを評価していただきこのような賞をいただいたこと、感謝しかございません。本当にありがとうございました。

(制作ラボ：株堀内カラー)





## 「トマト家族」 安達 亮 (有)I WILL (広島)

### 選評

トマト農家の楽しい会話聞こえてきそうな、家族の仲の良さを見事に表現した1枚です。ビニールハウスの中は撮影に向いておらず、画面がのっぺりしやすいのですが、直射日光を利用することでメリハリと奥行きのある絵作りをしています。また、上からの強い光での撮影にもかかわらず、高い技術力によって、一人ひとりの顔の輪郭や表情もしっかり捉え、表現の中に加えています。農作物が一番映える時間帯に、畑が美しく見える透過光で撮っているようですが、人物に光がカチンと当たってしまう時刻でもあるため、臨機応変な対応力を発揮していることも感じとれます。作物も生き生きと写り「トマトも家族の一員」と思わせる、優しさに満ちた写真です。

### 喜びの声

まず最初に、富士フィルム営業写真コンテスト開催60周年、誠にありがとうございます。また、長き歴史と私たち営業写真家の上位入賞という目標として、情熱を燃やす場を与えてくださった富士フィルム関係者の皆様に深く感謝と御礼を申し上げますとともに、この記念すべき60回で栄えある「銅賞」をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

初めての上位入賞の一報を受け取ったのは実は妻でした。面談をしていた私に、右往左往しながら「帝国で会いましょう!」と電話をいただいたけど、どうなるの?と。

予想もしていなかった吉報に私を含めスタッフ皆、動揺していたことを思い出します。

仲間からの祝福の電話やメール、お会いする方にまでたくさん声をかけていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

今回のご家族写真は、毎年同じ場所で同じ角度で撮影させていただいているご家族です。

5分もいれば汗だく状態になる真夏のハウス内で、いきいきと伸びるトマトの葉っぱたちからこぼれる夏の光。なかなか安定しない状況での1枚に、不安もありながら現像したことを覚えています。柔らかい光というより、「家族皆の笑顔の質を撮る」ことを意識して撮影いたしました。結果的にはお父様のひと言で家族が和み、私のご家族の笑顔に助けられた1ショットとなりました。こうして毎年撮影に声をかけていただくお客様に受賞の報告をさせてもらった時も、うれしい言葉をたくさんいただき、心の底から「写真撮って本当に素敵な

お仕事だな」と、私たちのこれからの意欲に変わるうれしい瞬間でした。

弊社の歴史を紡いでくれた先代にも感謝を忘れず、これからもたくさん先輩・仲間・業界関係者の皆様に叱咤激励いただき、七転び八起きしながら、この喜びをまた家族と共有できるよう写真道に進みたいと思います。

最後になりましたが、「写真とはなんぞや?」と一から叩き込んでくださった秋葉亮介師匠、写真を制作する環境を整えてくださった先輩や先生、技術を高め合うために一緒に学び、たくさん同じ時間を共有したPGCの仲間、私を支えてくださった全てのパートナー企業の皆様に感謝と御礼申し上げます。

ありがとうございました。

(制作ラボ: 富士フィルムイメージングシステムズ株)





## 「チームメイト」 太田順二 すみれ写真館 (佐賀)

### ■選評

バスケットボールチームの写真で、12名もの子供たちをローアングルから狙い、強いインパクトを感じさせる作品です。広角で捉え、ピントがそれぞれの顔の形で、歪みが出ないギリギリで当たっているところに、卓越した技術力が光っています。熱っぽいライティングにして、アスリートらしい情熱を見る者に感じさせる絵作りも、技ありの表現力です。強い光にすると顔が暗くなりがちですが、床にぶつけたライトの跳ね返りなどを利用し、アッパーカットにならないよう、影が出ないように工夫されています。また、ボールの配置が絶妙で、バランスの良い画面になっています。スタジオという空間の中でも、これほど迫力ある絵作りが可能と、知らしめた秀作です。

### ■喜びの声

栄誉ある富士フィルム営業写真コンテスト銅賞をいただきありがとうございます。私たちの憧れであり、目標であり、楽しみでもあるこのコンテストを長年にわたり開催していただいている富士フィルム様にとっても感謝しています。

今年がすみれ写真館開業100年を4月に迎え、祖父・父・私三代の感謝の気持ちを込めて家族写真撮影の大感謝祭をし、地域のたくさんの方々にご来店いただいで楽しい時間を過ごすことができました。そんな年に「銅賞」をいただき先代も喜んでることと思います。

この作品は当店の看板メニュー「友フォト」で地元中学校バスケ部の卒部記念の写真です。人数が多く構図やライティングも工夫が必要ですが、何よりも大切にしたいのが子どもたちが持っている個性とチームの雰囲気でした。撮影になると共に頑張ってきたチームメイトなので息がピッタリ!!こちらからの指示にもしっかりと応えてくれて和

気あいあい楽しく進み、みんなの協力のおかげで最高一枚となりました。先日お客様のご自宅に飾ってある写真がLINEで届きました。喜んでいただいている気持ちが伝わってきてとてもうれしかったです。

これからもお客様や地域の方々、ご指導くださった諸先輩方に感謝し、一緒に頑張っている業界の皆様と切磋琢磨してより一層お客様に喜ばれる良い写真を撮れるように頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

(制作ラボ：(株)プロカラーラボ 九州ラボ)





## 「それいけ！ 1年生」 袁田憲明 (有)フジ写真館 (熊本)

### ■ 選評

小学校に入学する喜びいっぱいの気持ちが表現され、ついクスッと微笑んでしまう楽しい作品です。子供たちにやらされ感がなく、「とにかく楽しい」という表情をしていて、カメラマンの誘導の仕方が優れていることがわかります。ライティング技術も見事で、奥から硬い光を入れていますが、補助光も少し入れ、画面が硬くなり過ぎないように調整しています。そのため影が濃く出ていますが、この影が見る者に動きを感じさせ、躍動感のある印象深い1枚にしています。また、色のある背景にすると、人物のやらされている感が出てしまうことがありますが、白バックにすることでカメラマンの演出が上手く消され、素直な喜びが際立つ画面作りに成功しています。

### ■ 喜びの声

このたびは第60回富士フィルム営業写真コンテストで「銅賞」をいただき誠にありがとうございます。昨年に引き続き上位入賞の結果を知った時は思わず声を出して驚きました。私が撮影の時に意識していることは「環境と光」です。その人らしい魅力ある写真が撮れるようにそれらを選んだり、演出できるよう日々試行錯誤しています。今回受賞した写真のお客様は、小さい頃から撮影に来てくれている姉弟で、私たちと普段から友達のように話をする関係です。撮影中も和やかな雰囲気の中で撮影することができました。今回の入学記念を撮影するにあたっては、しっかり者のお姉ちゃんたちに背中を押されて元気に登校していく1年生を表現したいと思い、ライティングはシンプルに朝日のような爽やかな光と影を意識し、アングルは迫力が出るようにローアングルで撮影しました。私の写真の技術だけでなく、この姉弟が自分たちらしく撮影を楽しんでくれたことが今回の受賞につながったと思っています。最近ではこれまで以上にいろいろな方々と知り合う機会が増え、人として成長す

る機会をたくさんいただいていると感じています。今後は、写真を通して学んだことをいろいろな場面でも発揮しつつ成長して、それをまた写真に生かしていきたいと思います。最後になりましたが、長年このコンテストを続けてくださる富士フィルム様、先生や全国の諸先輩方、プロカラーラボの皆様、そしてご来店くださるお客様に感謝を忘れず今後も精進していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

(制作ラボ：(株)プロカラーラボ 九州ラボ)

